令和８年度　糸島市立前原西中学校　８月号

学 校 だ よ り

令和８年８月２７日（木）

全校生徒　計７４５名

校長　光益　ゆかり

校訓　「希望」「実践力」「知性」

○学校教育目標

地域を愛し、心豊かで未来を切り開く生徒の育成

○令和8年度重点目標　「知性～深く考え、学び続ける力～」

自他を大切にし、協働しながら主体的に学び成長する生徒の育成

全力を出し切った夏！ ～地区・県大会で西中生、躍動！～

厳しい暑さのなか、夏休み中もそれぞれの場所で全力を尽くす西中生の姿が大変印象的でした。これまでの努力や仲間との絆を糧に、次の目標へ向かってさらに成長してくれることを期待しています。保護者の皆様には、日頃の温かいご支援と熱いご声援をいただき、本当にありがとうございました。

【中体連（団体）／コンクール等】

○陸上競技部：筑前地区大会　男子総合２位　女子総合５位、男女とも県大会出場
○柔道部（男子）：筑前地区大会３位、県大会出場
○バスケットボール部（女子）：筑前地区大会２位、県大会出場
○吹奏楽部：第２６回筑前地区吹奏楽コンクール　銅賞
○卓球部（男子）：筑前地区大会ベスト８

【中体連等（個人）】◆筑前地区大会等出場◆

○新体操部（女子）筑前地区大会出場
　西田　柚葉（３年３組）・藤井　莉由（２年１組）

○放送部：第 33 回筑前･筑後地区アナウンスコンテスト
・アナウンス部門：大柳　寧音（３年６組）
　井上　優衣（２年２組）
　友寄　結月（１年５組）
・朗読部門：小林　永樹（３年２組）
　田中　愛華（３年６組）
　矢野　千咲子（３年３組）

◆県大会（個人）◆

筑前地区大会･県大会（体操）･個人の部

種目名	氏名	年組	結果
体操男子･個人総合	三坂泰世	2年1組	筑前地区大会9位、県大会出場
体操女子･個人総合	中屋あかり	2年2組	筑前地区大会準優勝、県大会出場

◆県大会（個人）◆

県大会　柔道･個人の部

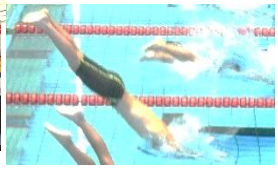
種目名	氏名	年組	結果
男子60kg級	木下璃音	2年3組	筑前地区大会2位、県大会出場
男子73kg級	鈴木奨大	3年1組	筑前地区大会3位、県大会出場
女子40kg級	仲西彩良	3年1組	筑前地区大会3位、県大会出場

県大会　陸上競技･個人の部

種目名	氏名	年組	結果
1年男子100m	植木 奏多	1年4組	県大会8位
3年男子100m	髙嶋 晃乃心	3年2組	県大会出場
男子共通800m	内場 総介	2年3組	県大会出場
2年男子1500m	内場 総介	2年3組	県大会出場
3年男子1500m	永田 琉伊	3年2組	県大会出場
男子共通3000m	永田 琉伊	3年2組	県大会出場
男子 4X100mR	松元 翼 髙嶋 晃乃心 行合 健晴 柳原 直輝	3年5組 3年2組 3年5組 3年3組	県大会出場
男子共通走幅跳	山下 航生	3年1組	県大会出場
男子共通三段跳	清水 實彦	3年6組	県大会出場
男子共通砲丸投	柳原 直輝	3年3組	県大会出場
男子共通砲丸投	大庭 和	3年3組	県大会出場
3年女子100m	藤本 乃愛	3年4組	県大会出場
女子共通1500m	中西 結衣子	3年4組	県大会出場
女子共通100mH	藤本 乃愛	3年4組	県大会出場
女子 4X100mR	藤本 乃愛 三苫 心南 村岡 玲那 立花 莉麻	3年4組 3年3組 2年1組 3年5組	県大会出場
女子共通走幅跳	三苫 心南	3年3組	県大会8位







県大会　水泳（女子）・個人の部

種目名	氏名	年組	結果
4×100m フリーリレー	中原　璃子（3年5組） 田中　杏果（3年5組） 小柳　結乃（1年2組） 森田　彩愛（1年7組）		県大会出場
4×101m メドレーリレー			県大会出場
200m背泳ぎ	中原　璃子	3年5組	県大会出場
200m個人メドレー	小柳　結乃	1年2組	県大会出場
100m平泳ぎ			県大会出場

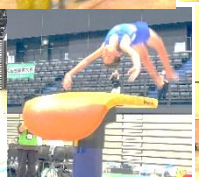















第72回全日本中学校通信陸上競技大会

種目名	順位	氏名	年組
四種競技	3位	山下　航生	3年1組
共通走幅跳	6位	山下　航生	3年1組
1年100m	6位	植木　奏多	1年4組





【表彰】

〇第２９回日中青少年書画交流会
・西日本新聞社賞：鶴﨑　美桜（２年５組）「鷺」
・糸島市長賞　　：野口　知夏（３年４組）「日本の春」

日本ユニセフ協会より前原西中学校に対し、ユニセフ募金協力への感謝状をいただいておりますので、紹介しておきます。すべての子どもの権利が守られる世界をめざした活動に使われるとのことです。

ひとりで悩まず、声をあげよう　～「SOS の出し方」授業（全学年）～



全学年を対象に「SOS の出し方～相談は自分自身を守る力」と題し、生徒指導担当の森主幹教諭による講話を行いました。思春期真っただ中の中学生が思い悩むことは自然なことであること、体や行動に表れる見落としがちな「心の SOS」サインについて具体的な症状などの説明がありました。そしてセルフケアとして自分の好きなことをするなど、ストレス解消法を見つけて試してみることも有効であることも学びました。

ストレスをまっすぐ受け止めすぎず、少し距離をとって、ゆるやかな気持ちでながめてみることも大切です。しかし、セルフケアには限界があるので、すべてを自分で解決せず、周りの人を頼ってみましょう。自分の気持ちに耳を傾け、周りに SOS を出すことはあなた自身を守る、とても大切な「力」です。また友人から相談された時も、自分一人で抱え込むことなく、信頼できる大人に相談しましょう。授業の中で外部の相談窓口など、具体的な相談先も紹介しました。ぜひいつでも、何度でも周りを頼ってくださいね。